

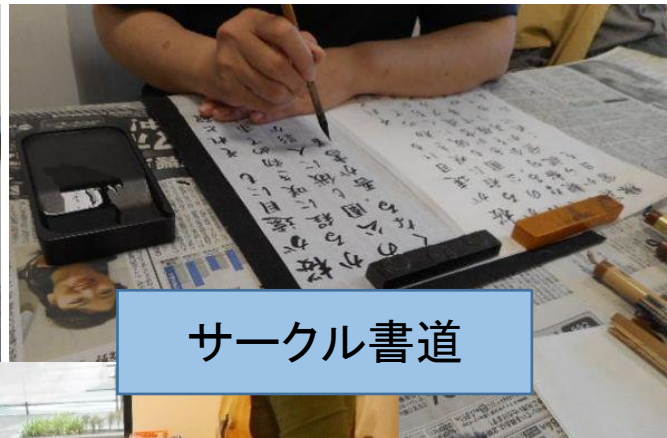
まちかど健康相談室(ぽけっとステーション)認定栄養ケア・ステーション

平成26年開所 和光市の一般介護予防事業 介護予防拠点の1つ
平日10～15時 高齢者から赤ちゃん連れまで 誰でも来ていいサロン
ミニ講座、サークル支援、地域連携(料理教室、会食、歌はできない)

管理栄養士12人、栄養士2人、保健師看護師歯科衛生士8人、ケアマネ・ヘルプ8人(計30人)



栄養講座・デモンストレーション



サークル書道



サークル 散歩



サークル ゲートボール



育児相談

ぽけっとステーションの事業概要(R2年度の実績)

R2年度の栄養事業収入： 15,794,368円

- ①総合事業：一般介護予防事業「まちかど健康相談室」 来所者 延べ 2002人/年
喫茶サロン 和光市 62人、けんこうサロン 朝霞市 95人
- ②総合事業：訪問型サービスC
和光市 269回、志木市 31回、朝霞市 42回
- ③総合事業：通所型サービスC 和光市
- ④保健事業：管理栄養士と歯科衛生士の訪問 和光市 102人訪問
- ⑤保健事業：通いの場でのホピュレーションアプローチ
和光市 6回、志木市 3回、朝霞市 12回
- ⑥地域支援事業：要介護の訪問栄養支援 和光市 73回、志木市 4回
- ⑦障害課、育児家庭：障害者、ネウボラ課(こども福祉課)の訪問栄養支援 和光市15回
- ⑧その他：栄養講座(生涯学習課、ヘルパー事業者、介護サポーター養成講座等)

地域連携 地区社協とコラボ
社協・包括・自治会・UR・学校・学童
保育園・郵便局・施設・スーパー・
民生委員・和光市 月1回会議

スーパーの出入口をお借りして
なんでも相談室開催



スーパーの建て替えて買い物難民
→ネットスーパー支援



まちかど→花植えたいけど場所がない
小学校→花を植えるPTAができない



和光市出身の落語家さん



看護学生の実習生受け入れ



女子栄養大学の学生の実習
ZOOMで栄養講座

地域から必要とされる栄養士になるために

委員会等で発言・「できない」をどうしたら「できる」になるか検討

- 地域ケア会議アドバイザー
- 医療介護連携会議
- 介護福祉計画策定委員
- 食育推進委員
- 主治医・包括・ケアマネ・事業者等に適切なフィードバック
- コロナで閉鎖→できることをみつける
- 市の職員に丁寧に説明
- 誰にでも思いやりとやさしさで対応



課題

- 居宅療養管理指導を行うにあたり
→クリニックとの対応
- 通所サービスの栄養改善加算
→収入低い
- 健康支援型配食サービス
→配食の考え方
- 総合事業や保健事業を他市でも
→支援が必要？
- 災害支援の拠点の1つに
→平時から地域に周知されること

